

第 90 号

大阪市史跡 龍湊禪師墓所 霊亀山 九島院

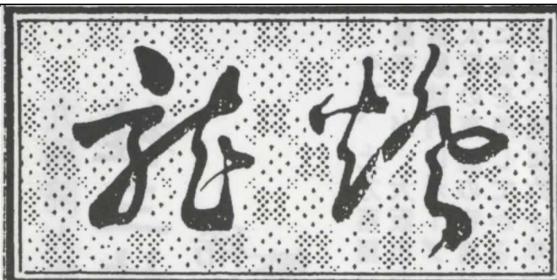
発行所

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号

TEL 06 (6583) 2725 FAX 06 (6583) 0908

発行者

第廿六代住職 奥田 穂積 (明勝)



当院は、阪神なんば線で、なんばから7分の都心の禪寺です。

一人で死んでくれ 他人を巻き込むな

〜 生まれた以上、絶対に死んではならない!〜

川崎市の20人無差別殺傷事件犯人の岩崎隆一容疑者(51)が自殺をしたことを受けて、ネットやメディア上で様々な意見が飛び交っています。

その後、官僚トップを経験した父親が、「他人に危害を加えかねない」としてひきこもりの息子を殺害する事件も発生しました。

議論の切っ掛けは、昼のワイドショー「ひるおび」で落語家立川志らくさんが、「子供を巻き込むな、死ぬなら一人で死んでくれ」とコメントしたことが始まります。

ネットでは、「死ぬのは自己責任」「社会や人のせいにするな」「自分が幸せになる努力をしろ」「子供を巻き添えにするのはあり得ない」など非難の声が目立ちます。

孤立者への支援活動をしているNPOほっとプラス代表理事の藤田孝典氏は「非難は控えてほしい」と呼びかけ、「死ぬべき人間がいるかのような暴力的な言葉は社会

への絶望感や分断を招きます。次の凶行を生まないためにも、手を差し伸べるメッセージが必要で、他者への言葉の発信や思いの伝え方に注意すべき」と述べています。

被害者感情からいって、「一人で死んでくれ」と思うのは至極当然なことでしょうが、果たしてそうでしょうか。他人を道連れに死ぬことは絶対にいけません。また、自分も死んではいけないのです。

仏教では「自殺」について、聖者と凡夫を分けて考えます。すなわち、悟りを開いた聖者であればむしろ自殺したほうが良いとされています。なぜなら、悟った聖者は輪廻の世界から脱出した存在で二度とこの世に生まれることはない。だからその人は、この世において悪業をつくらぬために、早く自殺したほうがよいとされています。

しかし、凡夫は輪廻する存在であって、この世で自殺すれば再び天界、人間界、修羅界、畜生界、餓鬼の世界、地獄界のいずれかに生まれる。その場合、人間界に生まれられない限り、来世に



おける仏道修行のチャンスはなくなるし、たとえ人間界に生まれても、そう簡単に仏道修行ができるとは限らない。だから、我々はこの現世において仏道修行を続けたほうがいいのであって、仏道修行のチャンスがなくすような自殺を否定しているのです。

けれども、自殺をする前には自殺してはいけないと教えるべきですが、自殺をしてしまった人やその家族にはその自殺を罪悪視しないで、慈悲の気持ちをもって、死ぬほど辛かったのだと寄り添ってほしいと思います。

九条十五景シリーズ

『竹林寺韓人墳』と『川口居留地』

⑨景『竹林寺韓人墳』

異郷客死恨綿綿
可憫漢重絶命篇
歳歳空過埋骨處
昏鐘迎月寺門前

(大意)
異郷での客死、彼の恨みは綿々とたえない。金漢重の辞世(絶命篇)の句を読むと憐憫の情が尽きない。歳月は空しく過ぎ去り、密やかに佇む韓人墳。夕暮れに鳴る梵鐘の音、竹林寺の門前には月が浮かんでいる。

江戸時代、前後12回にわたって毎回500人近い朝鮮通信使が訪日。対馬から江戸にいたる各地で盛んに文化交流が行われた。とりわけ大坂では、幕府が大坂城代を置く直轄領で、初めて正式に幕府から慰問と饗宴を受けた。川口に上陸した一行は竹林寺で旅装を整え、宿舎の北御堂(津村別院)にむかった。明和元年(1764)第11回目

かわぐちちきよりゆうち

の朝鮮通信使の小童として川口に到着。途中、玄界灘で暴風雨にあい重病となった金漢重(キムハンジュン)は、当時22歳で2児をもうけていたが、竹林寺での看病も空しく客死した。

金漢重が余命いくばくも知れずとなった日、竹林寺の和尚が、近所の子供を集め、かねて聞いていた金漢重の「故郷に残した子供に逢いたい」という願いをかなえさせようと、よく似た年格好の子を選び、「父さん、今来たよ」と言わせた。しかし、そうした努力もむなしく、彼は帰らぬ人となった。

竹林寺にある『金漢重墓』の左側面には、彼の辞世の句が刻されている。「今春倭国客 去年韓人中 浮世何會定 可帰古地春」
住職は彼のために百万遍念仏を修し、望郷の思いを残して死んだ隣国の客を弔って、次のような和歌を残している「日の本に消えにし 露の玉ぞとは 知て新羅の人や待つらむ」



九条島と朝鮮通信使 記念碑

⑩景『川口居留地』

嘗見白亜洋館重
氣燈街衢回尋蹤
木津川畔思往事
黄葉翻風聽早登

(大意)
昔ここ川口には洋館が建ち並んでいた。ガス燈が輝く居留地はいま跡形もない。木津川の畔で過ぎ去りし昔を思えば、枯れ葉が風に翻りこおるぎの鳴く声が聞こえる。

大阪開港にともない、川口地区に外国人居留地(租界)が造成された。明治元年7月29日に26区の永代借地権の競売が行われた。英・米・蘭・白耳義(ベルギー)が落札した。下水道・歩道車道の区別・ガス燈も整備され西洋建築が建ち並んだ。牛肉・牛乳・パンなど食料品から靴・鳥打ち帽・洋服など、川口地区は当時の人々にとって「文明開化」そのものであった。
しかし、大坂商人らは保守的で、これら新しい商品に消極的であったうえ、この地が大型船舶の出入りに不便であり、さらに外国商人の専横を許さなかったため、やがて外国商



川口居留地

人らは神戸居留地へ移転していった。その跡地には、キリスト教会とそれに附属した学校や病院などで、大坂女学院・プール女学院・桃山学院や聖バルナバ病院などが創設された。しかし、居留地時代の建物は1つも現存していない。明治6年に創建された川口キリスト教の教会が唯一当時の面影を伝えている。



川口基督(キリスト)教会

本年は、創建350年記念の年です。11月10日 退任・晋山式挙行。

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。



檀信徒の皆さまへ

大盛況 九島院 『手作り市』

& お寺 de ヨガ



だき、楽しんでいただけたと思います。また、ヨガには24名の参加を頂き、大盛況の一日となりました。来年も開催を予定していますので、お気軽にお寺へお越しください。私自身、すごく楽しい一日となりました。(住職)



開催日 5月19日(日)
天気 くもり

春の陽気な天気のもと、2回目となる『手作り市』を行いました。新鮮野菜、パン、アイス、クレープ、雑貨、アクセサリー、盲導犬グッズなど、様々なお店が境内にて出店。お檀家様の手作り商品コーナーもあり、楽しく賑やかに過ごせました。地域の方やお子さん。老若男女問わず、たくさんの方に来院いた

行事報告

3/23 : 山門会(春彼岸法要)

毎年恒例の春のお彼岸法要。快晴のもと、たくさんのご参詣を頂きました。法要後には、フルールズ様による中国瓢箪笛の演奏を披露していただきました。

参加者40名



3/31 : 写経会 20回目開催。参加者6名。
6/1 : はじめての坐禅 9回目開催。参加者10名。

行事予定

地藏盆子ども会

開催日 8月22日(木) 14時~

11回目の開催です。多くの子ども達にご来院いただきました。

写経会

開催日 9月28日(土) 15時~

21回目の開催です。どなた様でもご参加可能です。

お寺 de ヨガ

開催日 10月13日(日) 14時~

19回目の開催です。老若男女問わず、誰でもご参加OK。

退任式&晋山式

開催日 11月10日(日)

当院第25代住職啓知和尚の退任式と第26代穂積和尚の晋山式を行います。晋山式とは住職お披露目式のことです。(別紙参照)

お知らせ

『宗教法人九島院規則』第七條二項により、平成31年3月30日付で鷺山義明氏(大阪市西区本田在住)が、檀家総代に就任されました。

新庫裡建築報告

現在、鉄骨の枠組み、屋根も完成し、外壁工事、内装工事へと進んでおります。まだまだ完成までには時間がかかるようです。近接のお墓付近にも足場を組んだ状態が続き、ご迷惑をおかけしますが、ご協力の程、宜しくお願致します。

なお、境内墓地東側ブロック塀の改修工事も行っております。ご理解の程宜しくお願致します。
完成予定日..令和元年7月31日



2019.6.7現在

永代供養墓 だいじぞうそん

大亀地蔵尊

当院が永代に管理供養し、無縁仏とならないお墓で、遺族・ご家族にも安心して頂けます。

宗旨・宗派は問いません

- ご縁のある方のご遺骨をお預かりの方
- 墓地を整理してお骨を移したい方
- お墓の継承者がいない方

永代冥加金

一霊 30万円/二霊 50万円
併せて永代祀堂位牌(1万~5万)が必要となります。(管理料は不要)

きゅうとういん

黄檗宗(禅) 九島院
霊亀山

TEL. 6583-2725 西区本田3丁目4番10号
http://kyutouin.or.jp

新規境内墓地もあります

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

九島院のフェイスブックページを作りました！検索してみてくださいね！

編集後記

▼とうとう別れの時が来ました。月参りで乗っている愛車の軽自動車ツイン、走行距離は、21万617

1,617キロ。およそ地球の赤道を5.4周廻った計算になります。

▼スズキ製の2人乗りの軽自動車、わずか2年たらずで製造中止となった名車です。

▼平成15年9月に購入し、雨の日も風の日も16年間、平成時代の半分を共に過ごしました。▼経年劣化で、エンジンオイルが漏れだし、修理に40万円かかるこのことで断腸の思いで

新車に乗り換えました。

▼最近とみに高齢ドライバーの交通事故が多発しています。加齢に伴う身体機能や認知機能の低下が原因だそうで、運転免許の返納が勧められています。

▼小生67歳。機能低下は否めません。お参りと愛犬たちの動物病院への通院など、今のところ自家用車は必要です。将来、虹の橋で待つ彼らに、事故も無く運転免許を返納したと伝えたいものです。

▼新車は自動ブレーキ付の最新の軽自動車スズキ製のアルトですが、慎重に運転します。きつとこの新車が終の自家用車となるでしょう。(閑栖記す)

▽2月に寝屋川ハーフマラソン。4月に水都大阪ウルトラマラニック70キロに出走。70キロは7時間42分でゴール。脱水症状を起こしかけて無理のできない年齢に近づいたのだと痛感しました。

▽4月には長女が中学校へ、長男が小学校へ入学。5月には次女と長男の小学校運動会。慌ただしい2ヶ月でした。

▽本年9月から11月までラグビーW杯が日本で開催。そして、11月10日には師匠の退任式と小納の晋山式(住職お披露目式)を行います。どちらも一生に一度の行事です。

▽退任式&晋山式の準備に追われております。黄檗宗管長近藤博道親下にご来山頂くことになっております。精一杯勤めあげたいと思います。檀信徒の皆様、お参りいただけるとうれしいです。よろしくお願ひします。(住職記す)

● 「ふてニャン」の死 ●

道端に横たわる野良猫を見つけました。近づきよくよく見てみると、「ふてニャン」と名付けていた町内の野良猫が死んでいたのです。自動車にはねられたような怪我もなく病死のようでした。

「ふてニャン」は道路を隔てた川口生まれ、7、8歳。町内の動物好きの奥さんによると、「この交差点にある喫茶店の前にいつも居た猫で、親猫は自分宅の飼い犬と大の仲良しで、犬が死んだときには犬の柩に覆いかぶさって悲しんでくれた。喫茶店が閉店し餌が貰えなくなり、親子共々町内の猫好きの家の玄関先で餌を貰っていた」とのことです。

うちの寺の境内にも「ニャオ」と名付けた野良猫が住みついています。現住職が本山に修行中、ふらっと現れ、いつしか餌を与えることとなり16歳になります。大柄な「ふてニャン」は、境内にも入ってきて、「ニャオ」の餌を構取りし、年寄りの「ニャオ」がいつも負けていました。その容貌から、家内が「ふてニャン」と名付け、私たちはあまりいい印象を持っていませんでした。

ほっておくこともできず、家内は散歩から帰るとダンボール箱に亡骸をいれてあげ、環境事業センターに連絡をとりました。だるま堂のガレージに安置し、ご近所の猫好きのお家に連絡したところ、生花やチュール菓子などを持参されお別れに駆けつけてこられました。野良猫はその死骸を見つけられないといいますが、「ふてニャン」は幸せな旅立ちでした。

動物好きの人々の間で、「虹の橋」という詩が知られています。天国へ行く道の途中に虹の橋があり死んだ動物はそこで後から来る飼い主と再開を果たします。飼い主のいなかった動物も、身寄りのない人とめぐり合うことができ、共に苦痛や悲しみを忘れ、虹の橋を渡って天国にいけるのです。

わが家の愛犬「りょう・プーマ・ケィちゃん」を亡くし「ペットロス症候群」にかかった時「虹の橋」に慰められました。

きつと「ふてニャン」も誰かと巡り合い、幸せに虹の橋を渡って天国へ行くことでしょう。



九条から阪神と近鉄を使って神戸・奈良へ！更に京阪で京都までの延伸計画あり！

水灯会 (お施餓鬼法要)

8月19日(月)午後1時半より

※ご先祖供養。宗旨に関係ありません。ご回向お申込み下さい。法話：住職

大亀地藏尊盆

8月23日(金)午後7時より

※大亀地藏尊埋葬者供養の法要※

ご案内

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。